

地域貢献

Nitto ATPファイナルズで  
子どもたちを笑顔に

Nittoグループは、2017年11月12日から19日にロンドンのO2アリーナで開催されたNitto ATPファイナルズに合わせ、「子どもたちが笑顔になるお手伝いをしたい」との思いからさまざまなチャリティープログラムを実施しました。

子どもたちに世界トップクラスのテニストーナメントを体験していただくため、ご家族含め104人を招待したほか、試合前に選手の入場をエスコートするマスコットキッズの一部枠を国連児童基金(UNICEF、以下ユニセフ)に提供しました。また、来場者から募金を募り計3,869.34ポンドをユニセフに寄付しました。

これらに加え、ユニセフが推進する、清潔で安全な給水設備とトイレおよび衛生習慣の普及・定着を目的とした「Water, Sanitation and Hygiene」と子どもたちの健康を促進する「HEALTH」の2つのプログラムに対し、それぞれ



会場での募金活動



スペシャルギフト

15,000ポンドを寄付しました。

さらに、イギリスの小児医療専門病院グレート・オーモンド・ストリート病院および小児がん患者支援団体CLIC Sargentと連携して、難病と闘う子どもたちとご家族など57人を特別席へ招待し、白熱した試合を観戦していただきました。Nittoグループ特製グッズを含むスペシャルギフトや、駆けつけた出場選手からの激励に子どもたちは満面の笑みでした。

メキシコ地震災害に対する寄付

2017年9月、メキシコ中部を二度の大地震が襲い、多数の死者と甚大な被害をもたらしました。日東電工オートモティブ(メキシコ)と日東電工メキシコでは、従業員の呼びかけで募金活動を行いました。寄せられた募金で水や保存食、トイレトーパーやおむつなどの救援物資を購入し、会社からの義援金2,000USドルとともにメキシコ赤十字社を通じて寄付しました。



トルコの自閉症財団を援助

日東ベントは、2017年12月、トフム自閉症財団を訪ねて子どもたちにギフトを贈呈したほか、950ユーロを寄付しました。この財団は、自閉症について人々に正しく理解してもらい、早期診断および教育サービスを拡充することを目的に設立されました。2018年1月には、社内研修を通して従業員全員が自閉症への理解を深めました。今後も意識啓蒙や財団への支援を継続していきます。

英国のホームレスにクリスマスの食事を

2017年のクリスマス前の数週間、日東電工イギリスの食堂にフードバンクが設置されました。従業員に寄付を呼びかけたところ、パスタや缶詰などの保存食品が10箱分も集まり、地元マンスフィールドにあるブリッジ・ストリート・メソジスト教会に寄付しました。ホームレスや恵まれない人たちに食事を提供するスープ・キッチンを運営しており、後日お礼状を受け取りました。



教育振興・国際交流

カリフォルニアの子どもたちが水のろ過を体験

2017年3月29日、カリフォルニア大学アーバイン校で子どもたちに水の大切さを学んでもらおうと「チルドレン・ウォーター・エデュケーション・フェスティバル」が開催されました。ハイドロノーティクスは自社の製品を用いたろ過装置を用意し、技術スタッフによるプレゼンテーションやろ過体験を通じて子どもたちにメンブレンの不思議さを伝えました。



台湾の視察団がMFCAを学ぶため来日

Nittoグループは日本で初めてマテリアルフローコスト会

計(MFCA)を試験導入するなど、長年その普及に協力しており、毎年国内外から訪問客を迎え入れています。

2017年3月28日には、MFCAフォーラム台湾支部の代表など十数名がNitto茨木事業所を訪問されました。日本におけるMFCAについて理解を深めていただいた一方で、台湾の活動を知る良い機会にもなりました。



スポーツ支援

福井しあわせ国体・全国障害者スポーツ大会に寄付

日東シンコーは、2018年秋に地元福井県で開催される「福井しあわせ国体・全国障害者スポーツ大会」のため100万円を寄付しました。これに対して福井県から感謝状が授与されました。寄付金は障害者スポーツ大会の運営費やバリアフリー環境の整備などに使用されるということです。

※ 国体・全国障害者スポーツ大会：日本最大の国民スポーツの祭典。国体は1946年から始まり、2001年から障害者スポーツ大会が国体とともに運営されている。会場は毎年、都道府県持ち回りで開催される。



西川知事(中央)と日東シンコー社長の相澤(右)